

シビックプライド 図書館とともにつくる 地域の未来



みんなの森 ぎふメディアコスモス

岐阜市は 人口40万人の 中核市



岐阜市の政策的要請

1. 子どもファースト

2. 中心市街地の活性化

3. シビックプライドの醸成

複合文化施設 ぎふメディアコスモス



敷地面積:	14,725.39m ²
建築面積:	7,530.57m ²
延床面積:	15,444.23m ²
建物高さ:	16.09m

絆の拠点

- 市民活動交流センター
- 多文化交流プラザ

知の拠点

文化の拠点

- ホール
- 展示ギャラリー
- オープンテラス



滞在型図書館

- 座席数910席
- 最大所蔵可能90万冊



みんなの森 ぎふメディアコスモス 外観



2F 中央図書館

来館者数

約15万人 → 123万3965人

(旧本館 H25年) (メディアコスモス 開館(H27)からの1年間)

40歳以下の利用者割合

29.7% → 44.6%へup

(旧本館 H26年) (中央図書館 R4年(40歳未満))

若い世代を中心に利用者層の掘り起こしに成功

私たちが大切にしたいこと

「子どもの声は未来の声」

私たちの図書館では、本を通じて子どもたちの豊かな未来へとつながる道を応援したいと考えています。
就学前のお子さまから、小中学・高校に至るまで、
長い子どもたちの育ちを末永く見守る場所でありたいと思うのです。

だから、私たちは館内で小さなお子さまが少しざわざわしていたとしても、
微笑ましく親御さんたちといっしょに見守ります。
来館されたみなさまも、どうぞそのような考え方をもった図書館だにご理解いただければ有り難いです。

そして、小さなお子さまのお父さま、お母さまにもお願いです。
ここは公共の場所です。遊び場、運動場ではありませんので、公共の場所でのマナーを
お子さまに教えていただく場としてもご活用いただければ幸いです。

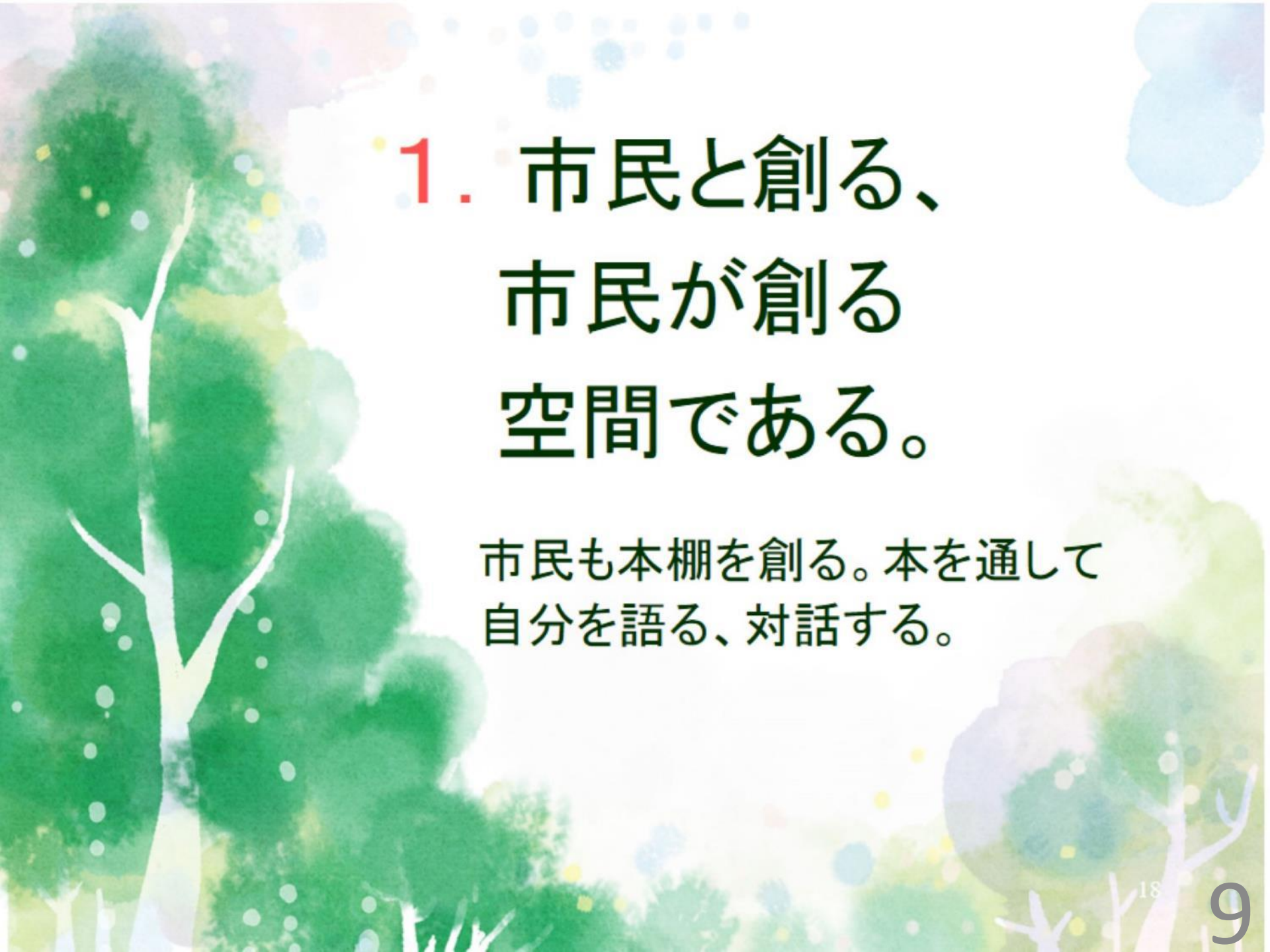
みなでお互い様の気持ちを持ち寄る場所にしていきたいと思います。

寝ころがっていい。うとうと眠ってもいい。
北欧のリビングルームのような場所



親子のグローブ (0～2歳)

くつをぬいでのびのびと本を楽しめる、親子のための場所です。



1. 市民と創る、 市民が創る 空間である。

市民も本棚を創る。本を通して
自分を語る、対話する。

みんなの
ライブラリー

市民が創る本棚。
おススメの本と
自己紹介が面白い。



図書館を愛する市民が自主的に企画・運営する
「ぎふライブラリークラブ」の活動も定着化

みんなの図書館

おとなの夜学

通算44回 開催

みんなの図書館

おとなの夜学

OTONA NO YAGAKU

vol.02 前編

(主催) 岐阜市立図書館
(企画) NPO法人 ORGAN

岐阜に在るのに“知らなかった”岐阜を知る。

岐阜ならではの知性が集まり対話する、おとなの為のまなびの時間

(参加資格) 中学生以上
*お子さま連れはご遠慮下さい
(定員) 50名 (参加費) 無料

otonanoyagaku.net

葉
月

2016.8.25 thu

岐阜から生まれた
ジャポニスム

—美濃和紙と岐阜提灯の今昔—

長
月

2016.9.20 tue

川が繋いだ手仕事の物語

—和傘、鶴籠、川舟—

神
無
月

2016.10.27 thu

岐阜の発酵をデザインする

—鮎とたまりと発酵トーク—

霜
月

2016.11.14 mon

岐阜市不思議巡り

—都市伝説と神話の現場から—



みんなの図書館 おとなの夜学

OTONA NO YAGAKU

vol.02 前編

今期も岐阜の地域文化に通じた様々な分野の専門家や“その道の第一人者”による
対談やディスカッション、レクチャーを予定しています。

葉
月

岐阜から生まれたジャポニスム

—岐阜の伝統工芸・前編 美濃和紙と岐阜提灯の今昔—

2016.8.25 thu 19:00-20:30 / 金華山テラス



明治の頃、フランスを中心としたジャポニスム(日本趣味)を牽引したプロダクトが、岐阜から輸出された提灯・和傘・うちわであったことをご存知ですか? 日本的なものの代表としてヨーロッパに運入れられた岐阜の和紙製品は、今もなお人々の心を惹きつけています。手書き和紙職人を支援しながら、海外に適用する和紙製品を作り続ける家田氏と、岐阜提灯製造の老舗を切り盛りする浅野氏が、和紙と提灯の今と昔、そしてこれからを語ります。

家田 学

いまだまよふ
家田精工株式会社

浅野 有誠

あきの ゆうじ
株式会社浅野商店

新築120年の重田屋敷の3代目。家田氏は、美濃和紙を使った提灯の職人の職人として、伝統工芸にこだわる一方で、現代のライフスタイルにマッチした新しい「提灯のかたち」を提案している。

長
月

川が繋いだ手仕事の物語

—岐阜の伝統工芸・後編 和傘、鶴籠、川舟—

2016.9.20 tue 19:00-20:30 / 金華山テラス



岐阜で様々な工芸品が生まれたのは、生産地である美濃と水運による繋がりがあってこそ。長良川流域の伝統産業は、原料生産地と製造地と言った関係で長らく一体であり、昨年の世界農業遺産「清流長良川の鮎」における里川システムの重要な構成要素。高度成長期に一度途切れかけたその繋がりが手仕事の再生に挑戦している久津輪氏と、未来の岐阜を担う若手傘職人の高橋氏とともに、岐阜の伝統工芸を未来に繋げる方法を考える対話の会です。

久津輪 雅

ひさし
岐阜県立森林文化アカデミー

高橋 美紀

たけし
和傘職人

NHK報道ディレクターを経て、群馬県立大学にて文芸学を学んだ後、イギリスで書写職人として働き、帰国後、和傘、和紙、伝統工芸の魅力を伝える活動に力を注いでいる。

神
無
月

岐阜の発酵をデザインする

—鮎とたまりと発酵トーク—

2016.10.27 thu 18:30-20:30 / 考えるスタジオ



発酵食は、人類が培ってきた食品の保存法であり、また地域独自の味覚を作り上げてきた地域食文化の核に位置付けられるもの。ここ岐阜にも「鮎の熟れ鮎」、「たまり醤油」など、地域独自の発酵食品を作ってきた達人がいます。関東を中心にメディアでも活躍する発酵デザイナー小倉ヒラク氏がその奥深さと岐阜らしさを引き出し、この地ならではの発酵トークを繰り出します。恒例の試食もあるよ。

泉 書七

いまだまよふ
岐阜市立中央図書館

小倉 ヒラク

おののひら
発酵デザイナー
/アートディレクター

山川 晃生

あきひろ
山川閣造形株式会社3代目

おとなの夜学に参加するには…

(参加資格) 中学生以上 *お子さま連れはご遠慮下さい
(定員) 各回 50名 (参加費) 無料
(予約申込) 各プログラムの1ヵ月前より予約受付開始

(お申込み) みんなの森ぶふメディアコスモス 〒500-8076 岐阜市司町40-5

岐阜市立中央図書館(総合カウンター) TEL 058-262-2924

または おとなの夜学 web サイト <http://otonanoyagaku.net>

霜
月

岐阜市不思議巡り

—都市伝説と神話の現場から—

2016.11.14 mon 19:00-20:30 / おどるスタジオ



オカルト研究家・作家の山口敏太郎氏は、全国的な調査を通して「口裂け女」の発祥地が岐阜であることを突き止め、柳ヶ瀬でのお化け屋敷など地域活性化事業に取り組んでいました。その山口氏と共に岐阜の妖怪伝説や神話の地を巡る妄想ツアーに出発! これまで氏と共に巡ってきた岐阜市の不思議スポットを巡りながら、岐阜市の不思議の謎に迫ります。

山口 敏太郎

やまぐち びんごう
オカルト研究家

蒲 勇介

おののひら
岐阜の妖怪研究家

作、漫画、小説、ライター、オカルト研究家など様々な面を持つ、UMAや心霊、都市伝説など、あらゆる不思議分野に精通する唯一のオカルトラングラー。





2. 子どもたちを育む 空間である。 (サードプレイス)

子ども司書制度、子どもラジオ局、
心の叫びを聴けえ!! 掲示板がある。

中高生、10代のための ショートショート発表会

第1回入選者が
今春 司書に！

(2015年～現在)



朝井リョウ氏（直木賞作家）



自作品を朗読

応募作品171件（2022年度）

市内だけでなく
関東、九州からも作品が集まる



全応募作品を掲載した作品集は
各中高の図書館で読める

子ども司書制度

(累計120名)

+

子どもラジオ

(累計77回放送)

→ メディアリテラシー、情報リテラシーを
楽しみながら育む



F Mラジオで放送



富山市立図書館・子ども司書との
ビブリオバトル交流



1周年イベント「伊東豊雄さんと語ろう」

本のお宝手帳に チャレンジしてね！



中高生と司書をつなぐYA掲示板 (開館以来尽きない人気のコーナー)

公開
文通

「心の叫びを聴けえ！！」

という人のためのQA交流。

本だけでなく、恋愛相談、進学や
友達関係のこと、様々な投書が
集まります。

ときには、ちょっとエッチなY談までも。
ユーモアにくるんで返します。

※既にやりとりは2,000通を越えています。





3. 本がひととまちをつないでいく。

MAP＝まちを巡る情報ツール、
まちライブラリー、担い手育成が
常に進行している。

A wooden Christmas tree-shaped book rack stands against a light-colored wall. The rack is made of light-colored wood and has a triangular shape with a curved base. It is filled with various books, including some with colorful covers and others with plain white covers. The books are arranged in a way that they are visible from the front. The number 18 is visible in the bottom right corner of the image.

柳ヶ瀬 商店街エリア 再開発・リノベーションが活発化



➡ ① まちなか交流拠点に図書館特集本棚を配置
(2018年4月～2020年3月) 2022年 まちライブラリー開設予定

➡ ② 金公園実証実験
として本を1ヵ月
持ち込む(2020年10月)



➡ ③ やながせリノベーションスクールに協力
(メディアコスモスと柳ヶ瀬の連携テーマ)

➡ ④ 柳ヶ瀬グラスル35に開設する子育て支援施設に
協力(2023年春オープン)

4. 今とこれから

CITY LIBRARY



みんなの森
GIFU MEDIA COSMOS



図書館は
本で人とまちをつなぐ
屋根の付いた公園です

本や人との偶然の出会いがあったり、本をまん中に人がコミュニケーションできる
誰もが生き生きとした表情に満ちた場所。私たちはそんな滞在型図書館をめざしています

岐阜市立中央図書館



ぎふの歴史を知る。情報を共有する場

シビックプライドライブラリー

2020年開設

●シビックプライドライブラリー



おとなの夜学

●おとなの夜学ブックレット 全12冊



●納涼の都岐阜 展示



ここからは、第2フェーズへ。

シビックプライドセンター = メディアコスモス

第1フェーズ

(2015～2020)

- ・メディアコスモス開館
- ・複合施設
- ・建築・ハードウェアの
美しさ、心地よさ

第2フェーズ

(2021～現在)

- ・市庁舎移転によるつかさのまちエリアのにぎわい創出
(館内から館外への流れづくり)
- ・融合施設へ(タテ軸 + ヨコに軸を通す)
- ・建築・空間デザイン + ひと・ソフトウェアの独自性、魅力づけ
- ・より市民の使いやすいサードプレイスに合った施設マネジメントの確立

■シビックプライド

シビックプライド

これからも岐阜の地で
楽しく豊かに暮らし続けていくための
関わる人々の誇り・心情・心意気のこと

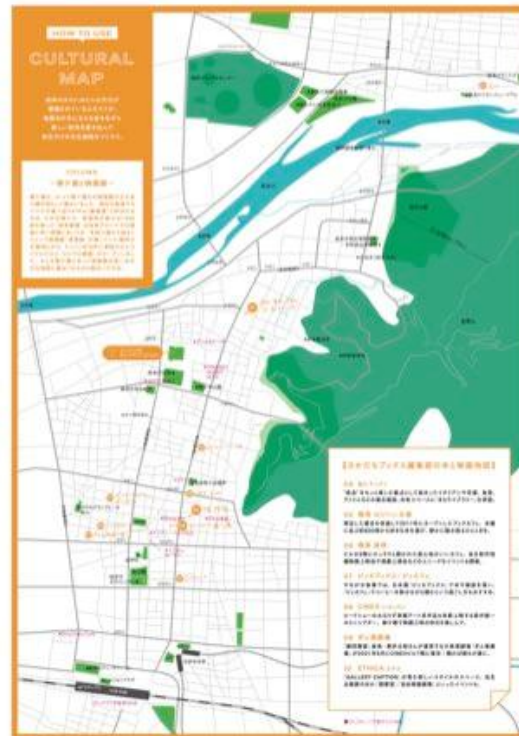
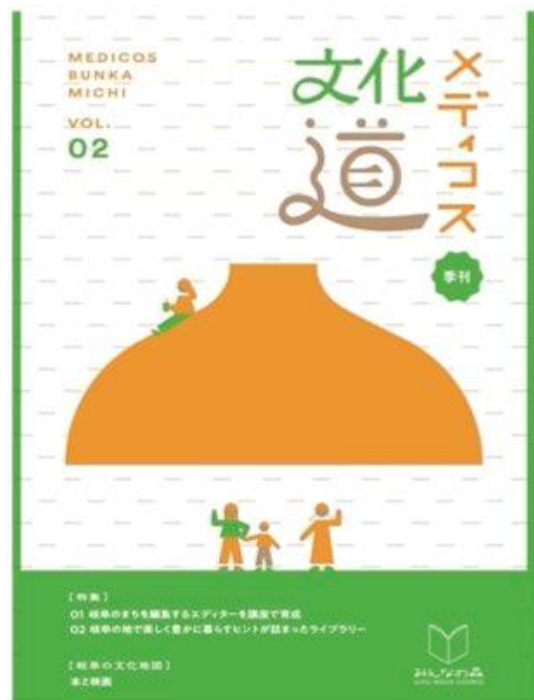
メディコス季刊紙（年4回）

メディコス文化道を発刊中！

2021～現在

オリジナルな
メディアで
ヨコをつなぐ

（図書館＋市民活動交流センター
＋多文化交流プラザ
＋メディアコスモス事業課）



2022年3月シビックプライドプレイスOPEN



- コンセプト
1. 小さな観光・地域文化の可視化
 2. ひと・情報の集積拠点
 3. まち散歩の拠点

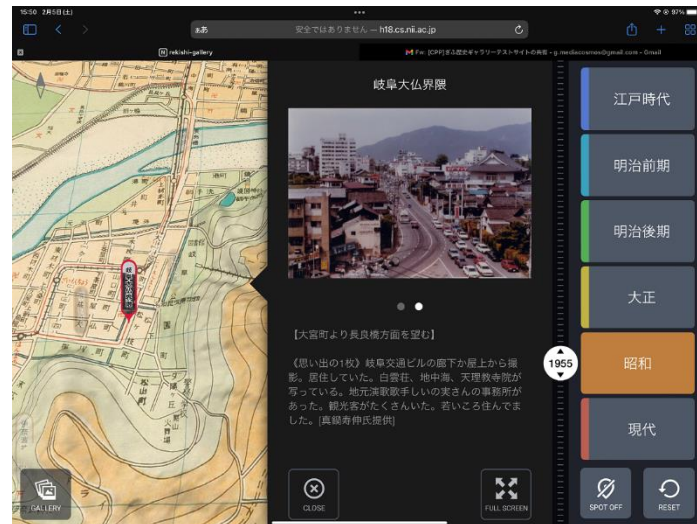
まち歩きステーション

岐阜市民だからこそ知っている、岐阜らしい魅力スポットを紹介するエリア



ぎふ歴史ギャラリー

貴重な写真や懐かしい写真から岐阜の歴史を重層的に見ることができるエリア



岐阜な人カード

- ・信長公など岐阜の偉人・文化人を紹介。
- ・伝統工芸の職人など現在岐阜で活躍しているユニークな人たちも紹介。



メディアコスモス (図書館)は
社会の風を感じる通風孔であり、
世代を超えて都市と人がつながる
シビックプライド拠点です。